

~~~~~ ○ ~~~~~  
午前10時00分 開議

○議長（横井良隆君）

ただいまの出席議員数は12人です。定足数に達していますので、ただいまから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

○町長（村上昌生君）

議長。

○議長（横井良隆君）

町長より発言を求められておりますので、これを許します。

町長、どうぞ。

○町長（村上昌生君）

昨日の一般質問におきまして吉原議員に対し発言の取り消しを私は求めました。

これは適切に処理された事務に対し、公の場である議場において利益供与の疑いがあるとの件であります。これは全く根拠のないことで何か我々が不適切な行為を行っているとさせるような印象操作であります。

また、私の母親が何ら法に抵触をした行為を行っていないにもかかわらず、そのことにより私に対して社会的、道義的責任があるかのような発言でもありました。これも根拠のない不適切な行為を行っているとさせるような全くの印象操作であると思います。私そして行政に対する誹謗中傷であり、社会的評価を下げる言動であること。もう1つとして公然と虚偽の事実を摘示した。以上のことにより刑法230条の名誉棄損に当たると思われます。

そして、私昨日も申し上げましたが、我が国日本には罪刑法定主義というものがございます。この義務にも違反しておるといことでございますので、よってここで強く吉原議員に謝罪と発言の撤回を求めます。議長よろしくお取り計りをお願いします。

○議長（横井良隆君）

昨日の一般質問における吉原議員の発言について、町長から発言取り消しされるよう申し出がありました。この件につきましては既に議会運営委員会で協議を行っていただくようお願いしてありますので、会期中に結果の報告をすることといたします。

日程第1、議案第2号大治町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

この条例改正でございますが、国の働き方改革法案に伴い勤務時間の上限を定めるものを規則で定めるということになっており、賛成できるものでございますが2点お聞きします。

災害時など非常事態での対応はどうなるのか。また、課長以上の管理職に関してはどうか。この2点をお聞きいたします。

○議長（横井良隆君）

吉原経夫君、手を挙げたときに指名されたら議席番号と名前を名乗ってください。

○7番（吉原経夫君）

はい、わかりました。

○議長（横井良隆君）

答弁どうぞ。

○総務課長（大西英樹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務課長、どうぞ。

○総務課長（大西英樹君）

まず1点目の災害時ということでございますが、人事院の規則によりますと災害時は特例業務ということでこの時間外勤務の規制の対象にはならないというような特例の措置が設けられております。

また管理職につきましては、長時間勤務命令というものはそういう概念はございませんが、人事院の指針といたしましては管理職であっても勤務時間の把握はするべきであろうというような見解が出ております。以上です。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第2号は、総務教育常任委員会に付託をいたします。

日程第2、議案第3号大治町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条

例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第3号は、総務教育常任委員会に付託をいたします。

日程第3、議案第4号特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。この条例改正、識見を有する者から選任された監査委員については同意できるものでございますが、議会の議員から選任された監査委員、これの年額を18万7150円から31万2000円にするという点に関してお聞きいたします。

昨年12月大治町議会議員の議員報酬、一旦はもとに戻すという引き上げをやっていこうという方針でしたが全会一致でこれは取り下げた。それと同様に町長などの給与についても同様でございます。そういう経緯がございます。その中でもう1回見直していこうという話でございました。これは町長提案ではございますが、監査委員ではございませんが議会の議員から選任された議会の議員以外にならない職でございます。ですから、議員報酬と同じではないにしてもやはりそこら辺考える必要がある。その点町長、提案するに当たって事前に議員の意見を聞くとか話し合うとかそういうことをしたのか。これは町長提案だから関係なしにやったのか。どちらなのかお聞きいたします。以上でございます。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

まず、この提案をいただくに当たりまして当然議会事務局長より提案を受けまして十

分話し合った後の町長提案としたものでございます。よろしく申し上げます。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

今ちょっと総務部長の発言の中で議会の事務局長からとありましたが、それではなくて議会の事務局長イコール監査委員事務局長でもございますのでそういう観点じゃないかなと思います。そこら辺議会の議員からそういう話を聞いたのかどうか。町長みずから聞いたのか。そこら辺お聞きいたします。

○町長（村上昌生君）

議長。

○議長（横井良隆君）

町長、どうぞ。

○町長（村上昌生君）

これは議員報酬でありませんであくまでも監査委員報酬でありますので、そこら辺のところを間違えのないようにご理解をお願いします。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

当然議員報酬ではございません。監査委員の報酬でございますが、これだけは議会の議員から選任された議会の議員しかねないんです。ですから、町民から見れば議員報酬と同じと考えられるものだと思います。ですから、上げる上げないがいけないと言っているわけじゃなくて、まず議員の中で話し合っていくべきじゃなかったか。それをやらないで町長が今の話だと議員からも話は聞いていないと。聞いたかどうかは答えていないですからわかりませんが、もし聞いていないとしたらそれは町長として提案としておかしいのではないかと思います。以上でございます。

○議長（横井良隆君）

暫時休憩といたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時09分 休憩

午前10時11分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（横井良隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

○監査委員事務局書記長（八神久美君）

議長。

○議長（横井良隆君）

監査委員事務局書記長、どうぞ。

○監査委員事務局書記長（八神久美君）

今回提案させていただきますのは、まず識見を有する監査委員も議員選出監査委員も監査委員の職務は同様でございます。それで今回の条例の提案理由で述べてございますように、監査委員に課される責任や範囲が拡大することを鑑み、報酬を見直すものというところで提案させていただきますのでご理解をお願いいたします。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第4号は、総務教育常任委員会に付託をいたします。

日程第4、議案第5号大治町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

昨年3月に引き続き国民健康保険税引き上げの提案でございます。

○議長（横井良隆君）

吉原経夫君、氏名と番号を教えてください。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。この条例改正でございますが、昨年3月に引き続き国民健康保険税引き上げの提案でございます。昨年3月、私は引き上げる必要がないのに引き上げた。その結果、支払準備基金という貯金が今2億1000万ぐらいあるという状況でまた引き上げるという提案でございます。これは私はやるべきではないと考えておりま

すが、まず2点お聞きいたしますが、均等割、これがまた昨年3月ことし3月と引き上げの提案があります。一応今まで資産割・所得割という応能割、また均等割・平等割という応益割、大体50対50というパーセントでやるという国の指針に基づいて大治町もやってきたんですが、今回均等割を昨年に引き上げていくということでそこら辺応能割・応益割のパーセンテージはどうなっているのか。また均等割上げる、大治町は被保険者の中で子供の割合は愛知県の市町村の中で4位、非常に高いんですね。均等割というのは赤ちゃん、子供にもかかる。子育て支援の施策に反するんじゃないかと思うわけですが、この2点はどうでしょうか。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

ただいまの応能・応益割のお話でございますが、12月の段階での調定額で申し上げますと応能割額52.94%、それから応益割47.06%でございます。

それからもう1つの子育て支援に反するのではないかということでございますが、現在今年度から税率の見直しを図っておりますが、資産割の廃止それから一般会計からのその他繰り入れの廃止等々をするために段階を経て税率の見直しをさせていただいておりますので、そのような観点から申し上げますと子育ての支援に反するということには我々としては当たらないということは思っております。以上です。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

何点かまたお聞きしますが、応能割・応益割、ことしの調定額を言われました。応能割が52.94、応益割47.06。50・50とすると応能割の方が多くないかというのがありますが、実は保険税を引き上げる前は大治町は応能割は55、応益割が45。大体応能割の部分が下がってきているわけなんです。来年度今回均等割を上げることによってどうなるのか。その回答がないのでそこら辺お聞きしたいのと、均等割は子供にもかかってくるということで非常に子育て世代に負担が大きいと私は考えます。ただ、国も子供の割合に応じて特別調整交付金というものも市町村に分配しております。その特別調整交付金、当然子供のために使うべきだと思うんですが、そういう施策になっていない。そこら辺はどのようにお考えなのか。どうでしょうか。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

今回提案させていただいております税率の改正の案でございます。今年度に引き続きまして均等割・所得割を今の資産割の廃止に伴い、それと一般会計から繰り入れの廃止に伴い所得割と均等割に税を求めたということでございまして、今後においてもしかるべきときに判断する場合においては、当然平等割も含めて試算をした結果で税率改正をする必要があると思っております。31年度につきましても当然その部分の平等割についても含めて検討した結果、今回は所得割と均等割に求めたということでございますのでよろしくお願いいたします。

それから子育て云々ということのお話がありますが、これは私どもとしましてはやはり国の方針等々ございまして資産割の廃止、一般会計からのその他繰り入れの廃止に向けて現在検討しておる中でこのような税率を提案させていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

今るる説明いただいて将来の方向性ですね、今年度また来年度の案でも資産割は減らして所得割はふやしていく。それは事実でございます。将来的に一般会計からの繰り入れを減らしていくのも事実でございますが、今年度来年度に関しては一般会計からの繰り入れは若干ありますがふえたりも減ったりもしない同額でございます。ですから、今の説明の中で一般会計からの繰り入れを減らす。それは将来性としてはそうなんです、現状ではそんなことはやっていないわけですからそこら辺説明が若干違ってくるんじゃないかなと思っております。最後、方針的なものはわかります。ただ昨年度まで大治町、保険税は軽減措置等々は別として引き上げを行っておりませんでした。それもありましてかつて納付率県内最低、滞納率最高だったのがだんだん上がってきているという経緯がございます。どんどん上げていって大丈夫なのか。昨年度の調定額だと保険税県内市町村の中で上から19位、ことし5位です。どんどん上げて一番大切な納付率が下がっていないか。そこは私が一番危惧するわけですが、そこら辺はどうでしょうか。一番そこが大切なところだと思うんですが。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

この改正でございますが、県から示されてくる予定の標準保険税率に近づけるための改正を行っておるものでございますので、そのところをご理解をいただきたいということと思います。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第5号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第5、議案第6号大治町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

今回ですね……

○議長（横井良隆君）

吉原議員。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。済みません。何度も済みません。7番吉原経夫でございます。議長の指名をいただきましたので質問をさせていただきます。

事業者の指定の申請の手数料また更新の手数料を新たに取っていくということでございます。もともとはこういう手数料を取らないのが通例だったと思うんですが、議案説明会の中で近隣を参考にするとございます。近隣では取っていると。また、県も同じように事業者指定行っているんですが、そこら辺県などはどうなのか。そこら辺の事情をもう少し説明をしていただきたいと思います。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

愛知県におきましては平成29年度から手数料の指定の申請及び更新の手数を徴収しております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

近隣は。

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

県の方はわかりました。近隣は大治町よりも先に取っているところもあるのか。そこから辺ちょっと答弁をお願いします。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

参考に海部津島管内で申しますと平成31年度から徴収をすると聞いております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

近隣を参考にするという事は近隣と同様に大治町もやっ払いこうと。額的にも同じような額でやっ払いこうということによろしいのでしょうか。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長。

○民生課長（加藤 謹君）

そのとおりでございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第6号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第6、議案第7号大治町公共用物の管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。この提案、改定、引き上げでございますが、これも近隣を参考にしたというか近隣も同様に上げていくからなのでございませうか。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

今回の占用料の見直しは愛知県の道路占用料条例の見直しに準じて見直しを行っておりますのでご理解のほどよろしく願いいたします。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

県の条例改正に伴うものだと。つまり県の条例改正と同じ時期に行うということですか。おくれて行うということでしょうか。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

愛知県におきましては平成31年4月1日から施行となりますのでそれに合わせて大治町の方も改正していくものでございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第7号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第7、議案第8号大治町道路占用料条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。これも県の条例改正等々によるものかどうか。近隣が上げているからなのかどうでしょうか、その事情は。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

これも愛知県の道路占用料条例の改正に伴うものでございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第8号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第8、議案第9号平成30年度大治町一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○3番（林 健児君）

議長。

○議長（横井良隆君）

3番林 健児君。

○3番（林 健児君）

3番林 健児です。補正予算書の26ページなのですが、西小学校のトイレ改修工事についてお聞きします。このものというのはポンプを必要とするような工事なんでしょうかというのが1点。

それから、13委託料の中の設計委託料1286万3000円。これの内訳をもう一度お願いしたいと思います。

○学校教育課長（恒川 覚君）

議長。

○議長（横井良隆君）

学校教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（恒川 覚君）

西小学校のトイレの改修工事費に伴うポンプの設置でございますが、こちらの方は事前調査をしましたところ必要な規定圧を確保しておりましたのでポンプの設置はいたしません。以上です。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

設計委託料の内訳ですが、屋根外壁を改修するための実施設計委託料として1059万5000円、設計の支援業務として226万8000円を計上したものでございます。

○3番（林 健児君）

議長。

○議長（横井良隆君）

3番林 健児君。

○3番（林 健児君）

226万の設計支援委託料ですが、このものというのはどこがどこへ委託するものなのかというのと、どういった設計、例えば監理まで含まれるのか、設計の援助なのか、ちょっとその辺のところを教えていただきたい。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

今回の委託ですが、公共工事発注支援機関として国が認定した機関に委託を考えております。あと業務内容ですが、設計業務の際、改修方法や設計内容の審査を支援していただくものでございます。また、設計図書等の成果物の確認など技術的見地から支援をいただくということで設計支援について委託をするということになります。

○3番（林 健児君）

議長。

○議長（横井良隆君）

3番林 健児君。

○3番（林 健児君）

今、方法だとか内容だとかを精査してもらおうという話なんです、その精査されたものを当町では誰が精査するんですか。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

一般質問でもご指摘をいただいております。今回の設計委託また工事の内容からプロジェクトチームを設置いたしまして、その中で練っていきたいと考えております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○2番（松本英隆君）

議長。

○議長（横井良隆君）

2番松本英隆君、どうぞ。

○2番（松本英隆君）

2番松本です。今の関連といいますか26ページの同じ委託料の中で屋根と壁面というふうに伺っているんですが、今の説明だと1059万5000円が屋根ということなんです。壁

面の方はどうなんですか。内容としてどんなようなものかというのはこれだけ1200万円上がっていますので、壁面というのは入っているんですか。内容をちょっと教えてください。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

今回の設計ですが、屋根の改修部分と壁の改修部分、両方含めた設計になります。屋根と外壁を含めた部分の設計になります。

○2番（松本英隆君）

議長。

○議長（横井良隆君）

2番松本英隆君。

○2番（松本英隆君）

壁というのは全体ですか。例えば今プールのところってガラス張りになっていますよね。ああいうのも入っているんですか。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

今後の設計になるんですが、南面もH鋼が結構さびているのでそこも含めて設計の中で検討していきたいと考えております。

○2番（松本英隆君）

議長。

○議長（横井良隆君）

2番松本英隆君。

○2番（松本英隆君）

プール跡地の方の利用も含めてというか絡んでくると思うんですが、今曲げガラスが入っていますね。自分もガラスをやっていたんですがすごく高いんですよ。設計する段階のところではかも絡んでくると思うんですが、設計するときはこの壁面はどのこのとかいう設計会社に言ったりすることもできるんですか。ガラスじゃなしに別の方で設計してくれとかそういう話というのもできるのか、逆にしているのか再度聞かせてください。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

今議員言われるように南のガラス面も含めて検討していかないといけないなと思っております。今後プールの跡地の改修も含めて改修をしてまいりますので、どの時点でやるかも含めて今後検討していきたいと考えております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫です。まず18ページの一番下の繰出金。介護保険特別会計、保険事業勘定へ繰り出す。これは低所得者介護保険料軽減負担金、介護保険料軽減にかかわるものですが、やはり高齢者であり予想以上に、予測より低所得者の方が多かったということだと思っております。そこら辺実際当初予算で何人見込んで現状何人ぐらいになりそうなのかということをお聞きします。

もう1点は20ページ、下から2行目の保育補助者雇上強化事業費補助金が972万5000円減額になっております。現状、保育士さんの待遇も全国的に悪いといわれております。保育補助者、当然保育士より待遇がいいということは考えられないので、待遇が悪いという中でなり手がいないのか。それともそれぞれの保育所で必要性がなかったのか。なぜ補助金がこんなにも使われなかったのか。そこら辺をお聞きいたします。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

まず18ページ、繰出金の7万4000円でございます。当初では950人見込んでおりました。実績において973人になっております。以上です。

○子育て支援課長（安井慎一君）

議長。

○議長（横井良隆君）

子育て支援課長、どうぞ。

○子育て支援課長（安井慎一君）

20ページの保育補助者雇上強化事業費補助金、こちらの減額理由でございます。平成30年度の国の補助金では現行で子育て支援員研修等の必要な研修を受けた者というのが緩和される予定でございました。その緩和内容が各園において研修を40時間以上もしくは他の学校等で40時間以上研修を受けた者ということで、この事業の初年度に当たって少し園においては使いづらかったのかなというようなイメージを持っております。以上です。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

当然、研修終了しないと保育補助者にはなれないということですが、保育補助者の現状の待遇というかそこら辺もし非正規でしたら時間幾らとかそういうような点は把握はされておられるのでしょうか。

○子育て支援課長（安井慎一君）

議長。

○議長（横井良隆君）

子育て支援課長、どうぞ。

○子育て支援課長（安井慎一君）

今現在、申請の段階でございまして各園の人数それから総額については把握しておりますが、個別の金額等についてはまだ把握はしてございません。以上です。

○議長（横井良隆君）

他に。

○4番（林 哲秀君）

議長。

○議長（横井良隆君）

4番林 哲秀君。

○4番（林 哲秀君）

4番林 哲秀でございます。26ページをお願いします。先ほども西小のトイレで出ましたが私も西小を7年ほど使わせていただきましてコミュニティとかでいろいろ使っているんですが、外のトイレなんです非常に雨上がりのときに男子の場合は砂地が多くなっちゃうんです。何十年に1回の改修でございますのでこら辺の対策はどうなっているのかということ、それは乾燥したら砂ぼこりになっちゃうんですよ。すごくドレー

ンも詰まっちゃうもんですからそこら辺を改良してラバー張るなり何なりということをやっていただけなのか、ぜひやっていただきたい。現場を見ればきれいか汚いかはそれはちょっと判断しませんし見ればわかると思いますが、あそこが一番ネックなんです。女子の方はそうでもないんですが、男子の場合ですと結構砂地になるんです。私がやっておる場合は水をだばっと流しておいて砂だけためておいてきたんですが、その次に翌日の月曜日ぐらいだと乾燥しちゃって今度は砂が舞い上がっちゃうんですよ。そこら辺の対策もどうされるのかということと、ぜひ何十年に1回のことでございますので洋式、和式はちょっと別といたしまして恒久に使っていくわけですのでそこら辺のところをちょっとよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（横井良隆君）

林 哲秀君。

○4番（林 哲秀君）

どうされるかということと、どんなような形にされるかお聞きしてそれで終わりますわ。

○議長（横井良隆君）

要望じゃありませんので質疑です。

○4番（林 哲秀君）

いやいや質疑。どういうふうにされるのかということです。

○議長（横井良隆君）

例えば……

○4番（林 哲秀君）

洋式にされるのか全部、和式かということです。男子の方です。女子の方はいいですわ。

○議長（横井良隆君）

暫時休憩といたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時37分 休憩

午前10時37分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（横井良隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

それに対して答弁を。

○学校教育課長（恒川 覚君）

議長。

○議長（横井良隆君）

学校教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（恒川 覚君）

ただいまのご質問ですが、当然西小学校の外トイレも改修を行います。全て洋式化にさせていただきますましてそちらの方でやりますのでよろしくお願いをいたします。

○議長（横井良隆君）

他に。

○4番（林 哲秀君）

議長。

○議長（横井良隆君）

4番林 哲秀君。

○4番（林 哲秀君）

よろしくお願いたします。

○11番（浅里周平君）

議長。

○議長（横井良隆君）

11番浅里周平君。

○11番（浅里周平君）

11番浅里周平です。今回、大きな補正予算の提案をいただいております。私自身、合点のいかん部分があつてお伺いするんですが、繰越明許ということで提案をいただいておりますが、社会福祉費ということで希望の家の空調設備事業、それから教育費で今話題の西小学校のトイレ改修、それから教育費でスポーツセンター屋根外壁等改修事業に伴う設計委託。そういったものの提案をいただいております。この中で教育費の西小学校のトイレの場合、国の補正予算で補助金が可決されて、その補助金の内示があつて受け入れる。当然これ大治町で予算立てしないとこの補助金がなくなってしまう可能性もあるので今回の提案になった。しかし社会福祉それから保健体育費、このものは国の方の補助金に関係しておりません。そういう点では繰越明許ということで提案をいただいておりますが、自治体の予算というのは会計年度の独立の原則、その年度はその年度で終わるといふことで縛られております。そういった観点からお伺いするんですが、この議案が22日の最終日に可決されてそれから今年度31日まで稼働できる日数というのは5日間なんです。そういうことで考えていくと本来的にいったらこれは31年度の予算であろうということをお伺いしますが、なぜ繰越明許までうたいながら提案しなければいけない特段の理由をお伺いしたい。

○総務部長（桑野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

まず3款民生費、1項社会福祉費における空調設備改修事業でございます。これ空調設備でございます。なるべく早く予算の確定をいただき事業に着手したいと考えておりまして、その旨で今回の提案とさせていただきます。

それから9款教育費、5項保健体育費、スポーツセンターの屋根外壁等改修工事の設計委託料でございます。これにつきましても現在スポーツセンターは改修事業に入っております、天井ではございますが。なるべく切れ目がない事業継続といたしたく、これについても設計委託をなるべく早く行っていきたいと考えております。以上です。

○11番（浅里周平君）

議長。

○議長（横井良隆君）

11番浅里周平君。

○11番（浅里周平君）

なるべく早くということでも5日間を急ぐためにやられたということでも理解していきませんが、率直にいうとこういう手法というのは余りってほしくないと思うんですね。なるべく早くということでも住民サービスを考えたということなんだろうが、先ほどもいいましたたった5日間でしょう。その5日間、どうして無理して予算を組まないかとかというのは、当初予算から大きくはずれていくでしょう。先ほどちょっと計算しましたが、伸び率はこれで15%、115%になるんですね。これは当初に町民に披露した30年度の予算から大きくはずれていくことの一つの要因になってきますので、私は今後のことについては十分検討の余地はあると思うんですね。そこら辺どうですか。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

もちろん議員ご指摘のとおり会計年度の独立の原則、これは当然でございます。ただ、その独立の例外規定として繰越明許費、その他継続費も認められておるわけではございますが、そういったところもよく予算編成時にこれから判断させていただいて不要な事業を繰越明許費で上げるということがないように十分精査してこれから進めさせていただきます。

○議長（横井良隆君）

他に。

[[なし]の声あり]

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第9号は、所管の各常任委員会に付託をいたします。

日程第9、議案第10号平成30年度大治町介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。12ページの介護給付費準備基金積立金でございます。この介護給付費準備基金については昨年3月介護保険料も値上げをした3月議会の中で、前提となる基金額1億5000万円と行政側は見込んでいたんですが、実際1億9000万円あるということで4000万円あるから上げる必要はないと私は主張させていただきました。

また、今回予算では336万1000円貯金を積み立てるということですが補正として3335万3000円ふえています。想定よりも基金はふえていると思うんですが、そこら辺今現在どういう見込みなのか。想定よりどれくらいふえてきているのか。そこら辺の答弁をお願いします。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

介護保険の事業計画におきましては、平成30年度から平成32年度までの3年を1期とした中長期的な財政運営のため単年度で収支差額が発生しましても3年間の事業計画をとおして収支が均衡するように計画を立てております。今回積み立てた額が3000万を超える額になっておりますが、計画の初年度ということでございますので給付の見込み額が保険料等の財源を下回るということになりましたので積み立てるものでございます。

以上でございます。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

当然、見込みは見込みで実際ふえる場合も減る場合もございますが、もともと計画を立てた段階で実際とは4000万円基金が多い。今回また3000万ちょっと多いということで7000万ちょっと想定よりふえてきているわけです。そこら辺はどう考えているのかということと、もう1点、19ページ21ページでございます。町立デイサービスセンターについてでございます。収入が減ってきているという問題でございます。当然町立デイサービスセンター必要なもので守っていかなきゃいけない。ですが、やはり収入は確保していかなきゃやっていけないという観点でございます。地域密着型介護サービス費収入、これは要介護の方です。介護予防日常生活支援総合事業費収入、これ要支援です。居宅介護サービス費収入、これも要介護。居宅介護と地域密着型、制度が変わっていく中で名前が変わってきたというものだと思いますが、そこら辺要介護、要支援、何名を見込んでいて何名の利用しかなかったから減ってきたのかと。そこら辺の説明をお願いいたします。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

初年度の平成30年度におきましては余剰金を基金へ積み立てることになりますが、平成31年度の予算では給付見込み額と保険料等の財源がおおむね均衡のとれた予算となっており、平成32年度では給付見込み額が保険料等の財源を上回りその不足分を平成30年度に積み立てた額を基金から繰り入れるという計画になっております。以上でございます。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

老人福祉センター所長、どうぞ。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）

歳入の方のご質問ですが、地域密着型介護サービス費収入におきましては当初予算時8人、補正時7人で見込みました。

続きまして介護予防日常生活支援総合事業の方ですが、こちらの方は要支援者で当初予算9名で見込みましたが補正時には7人です。

次に居宅介護サービス費収入ですが、こちらの方は要介護、要支援の3月分でありまして当初予算17人、補正時15人となっております。以上でございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

介護予防日常生活支援総合事業を新しくやることに当たって、前の制度がちょっと残っているという居宅介護サービス費収入という説明は理解できました。

最後に、民生課長にお聞きしますが介護給付費準備基金積立金で3年間の計画、その趣旨はわかります。初年度基金で黒字をつくって2年目は均衡、3年目で赤字になって取り崩していくという考え方は理解できるものでございますが、実際最初当初計画で基金額を1億5000万円と見込んでいたんだが、実際は1億9000万あったんですよ。これは昨年3月に指摘しましたが、見込み違いで4000万円多かったですよ。今回また見込み違いというかそんなずれることもありますからいいんですが、今回当然初年度基金がふえることに見込んでいるんだけど、その見込み額よりも3000万多い。だから7000万円実際よりも計画で見込んでいたよりも多いんですよ。じゃあ将来的に33年度からどうするのか。基金が残れば保険料は引き上げる必要はないのでそこら辺の考え方はどうなのか。30年度から32年度まで今計画を言われましたから、じゃあ33年度以降どうなるのかとそこをお聞きしたいと思います。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

ご指摘の基金残高でございますが、本町におきましても年々高齢化が進んでおります。今後も保険料の増額が見込まれるという推計も出ております。次期計画におきまして急激な保険料の上昇を抑えるよう基金を活用しながら適正な保険料の額に努めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第10号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第10、議案第11号平成29年度大治町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

[「なし」の声あり]

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第11号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

ここで暫時休憩といたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時52分 休憩

午前11時00分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（横井良隆君）

休憩前に引き続き会議を始めます。

日程第11、議案第12号平成31年度大治町一般会計予算を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○1番（若山照洋君）

議長。

○議長（横井良隆君）

1番若山照洋君、どうぞ。

○1番（若山照洋君）

1番若山照洋です。120ページ、13委託料、福祉巡回バス運転管理業務委託料なんですが、なぜ委託になったのかという点と、134ページ、自動火災報知機設備改修工事、これの現状はどのような状況なのかお聞きしたいです。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

なぜ委託にしたのかというご質問でございます。福祉巡回バスの運行につきましては現在臨時雇用職員を雇用しまして運行しておりますが、運転手が病気や急用などで急遽

休むことになった際にかわりの運転手の手配ができない場合は民生課の職員で対応しているため事務に支障が出るということでございます。また、福祉巡回バスの使用車両につきましては中型車になりまして普通免許では運転できないということで運転できる職員も限られております。以上のことから運転業務を民間へ委託するものでございます。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）  
議長。

○議長（横井良隆君）

老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長、どうぞ。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）

134ページの自動火災報知機設備改修工事につきまして、受信機連動操作盤内の通信装置に不具合が見つかったため機器の改修工事を計上したものです。なお、現在は受信機、感知器の自火報装置については正常に作動しております。以上でございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

○2番（松本英隆君）

議長。

○議長（横井良隆君）

2番松本英隆君、どうぞ。

○2番（松本英隆君）

2番松本英隆です。まず240ページになります。真ん中の方の13番の委託料として施設の管理委託料とありますが、体育施設費として上がっている部分なんです、これ済みません詳しい内容を、何の施設なのかという部分をお聞かせ願いたいです。施設196万9000円上がっています。

続きまして242ページ、13の委託料、トレーニング室管理委託料の方です。1600万円。これ前回よりも200万円ほど上がっておりましてそこら辺の上昇した内容とかをお聞きされているのか。あとトレーニング室の管理でこの辺の近隣の市町村と比べてこの金額というのは適正なのかどうかというのをちゃんと調べているのかをお聞かせください。

その下のところ、空調設備の保守委託料。これも金額はかなり上がっております。もうちょっと下の方のトレーニング室の保守委託料、こちらの方はトレーニング室の管理とは別でやっておられるということなんですかね。業者としてもどうなのかということをお聞かせください。

あと最後になりますが、244ページ、これも真ん中あたりにまた同じトレーニング機器の借上料というのがあります。前年度のときに45万8000円だったのが今回300万円とかなり金額として上がっておられるんですが、この借上料は何か変わったのか。この上がり幅というかこれの内容をお聞かせください。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

それでは順次お答えさせていただきます。

まず、240ページの施設管理委託料は何かということなんですが、こちらは町営野球場の施設管理になりまして除草と芝の管理のための委託料になります。

続きまして、242ページのトレーニング室の運営委託料。なぜ金額が前年度と比べて上がったかということなんですが、こちらの方は人件費の増と営業日数の増、それから消費税の引き上げによるものでございます。なお、申しわけない。他の市町村の状況については把握しておりませんのでお願いします。

続きまして空調の改修工事の保守委託でなぜ上がったかということなんですが、今回天井の改修と同時に空調整備の更新も行っております。保守料はそのために増加したということで増加の主な理由としましては熱源のもととなる冷温水発生器や空冷のヒートポンプチラーの点検回数が今回ふえるということと、新たに冷却水の水質管理の装置を新たに設置したということで薬剤を投入することによって水質の悪化、腐食等を防止するための水質管理の保守費用も新たに見込んだということで今回上がったということですのでよろしくお願いします。

次に、トレーニングの保守ですね。こちらはトレーニングの機器があるんですがそちらの保守を月1回それぞれワイヤーの点検とか器具的に大丈夫なのかという保守点検を安全のために月1回行っているものでございます。

次の244ページのトレーニング機器の借上料、なぜふえたかということなんですが、現在使用しているトレーニング機器におきまして、特に筋力系のトレーニング機器は開館当時から22年を経過して経年劣化が著しいということでやはり利用者の安全性を考えて今回更新するということと、あとはランニングマシンなんですが、その機器についても再リースを繰り返していて、やはりメーカーの方からも部品が供給できないということなので今回新たに更新する費用ですのでこれだけふえたということですのでよろしくお願いします。

○2番（松本英隆君）

議長。

○議長（横井良隆君）

2番松本英隆君、どうぞ。

○2番（松本英隆君）

わかりました。この使用料ですが先ほどのトレーニング室の委託、そちらの方はわか

りましたがぜひちょっと調べていただいて近隣とか適正というか金額的にどうかというのをちょっと調べていただいてまた教えていただきたいと思います。

あと、このトレーニング室の244ページ、新しく入れて金額がふえたということなんです、これも減価償却でこの借上料も減っていくということで考えてよろしいですか。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

トレーニング機器ですが、リース契約を考えていますので金額的には一応5年間この金額でいくという形を想定しております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○6番（後藤田麻美子君）

議長。

○議長（横井良隆君）

6番後藤田麻美子君、どうぞ。

○6番（後藤田麻美子君）

6番後藤田麻美子です。ページ数は158ページです。感染症対策事業費の中に含まれていると思いますが、今回風疹の感染対策防止に向けた取り組みとしまして39歳から56歳の男性を対象にことしの春から2021年の3年間、原則無料化をされるとお聞きをしております。この風疹に妊婦が感染すると赤ちゃんが難聴や白内障また心臓疾患などになって生まれる可能性があることを踏まえまして、国は予防接種法に基づき定期接種を行うようにしたものでございますが、本町としてはこの対象者は何人おみえになるのかお聞きいたします。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（横井良隆君）

保健センター所長、どうぞ。

○保健センター所長（吉本清美君）

39歳から56歳の方の対象といたしましては4,822名になります。以上です。

○6番（後藤田麻美子君）

議長。

○議長（横井良隆君）

6番後藤田麻美子君、どうぞ。

○6番（後藤田麻美子君）

この接種を受けるに当たりまして国は90%とおっしゃっていますが、本町としては何パーセントまで目標でもっていかれる予定なのでしょうか。お聞きいたします。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（横井良隆君）

保健センター所長、どうぞ。

○保健センター所長（吉本清美君）

目標といたしましては国と同様まず2020年の7月までに85%以上、2022年3月末までに90%以上としております。以上です。

○議長（横井良隆君）

他に。

○3番（林 健児君）

議長。

○議長（横井良隆君）

3番林 健児君。

○3番（林 健児君）

3番林 健児です。186ページですが、公園整備事業費1億2752万5000円。この内訳をちょっと詳しく教えてほしいと思います。

それと214ページ、大治南小学校給水配管改修工事198万。これきのう見に行かせていただいたんですが、メーター数と改修しなければならない理由。それから改修する方法。その辺を教えてくださいたいと思います。

240ページ、先ほど松本議員の質問で委託料、施設管理委託料の196万9000円の中に芝の管理費も入っているということでお聞きしたんですが、11の修繕料の108万7000円、これが芝の修繕かなと思っていたのでこの修繕料の内訳をちょっとお話ししていただきたいと思います。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

公園事業でございます。土地購入を11筆予定しております。また、物件補償といたしまして4件の補償を見込んでおります。このものにつきましては砂子防災公園の事業となります。あと1つ、中島の多目的広場1筆の購入もこのものに含まれておりますのでよろしくお願いたします。

○学校教育課長（恒川 覚君）

議長。

○議長（横井良隆君）

学校教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（恒川 覚君）

214ページの学校整備工事費の中にございます大治南小学校の給水配管改修工事につきましては、まず施工の距離でございますがおよそ51メートルを見込んでおります。

それからこの改修の理由でございますが、ここにございます配管につきましてはほぼ地中に全て埋設された配管でございます。そのため経年劣化に伴いまして管の老朽化が進んでおります。そのため漏水が発生しております。この理由によりまして埋設配管を方法といたしまして地中配管を撤去いたしまして、その後露出配管として地上に配管を出してちょうど体育館の壁面が横にございますのでそちらの方をはわせてつたわせて配管をしていきたいと思っております。なお、一部どうしても道路というか校内道路になりますが横断するところがございますので、そこについては従来どおり埋設配管で行いたいと考えております。以上です。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

それでは240ページの町営野球場管理の修繕料の内訳なんですが、こちらはグラウンドの修繕になります。マウンドの形成の修繕とあとダッグアウトのフェンスの修繕ということでベンチの足が腐食しているため今回修繕をするということと、あとはバックスクリーン、防風ネットがあるんですがそちらの方が破れているので来年度こちらの方を改修させていただく費用になります。以上です。

○3番（林 健児君）

議長。

○議長（横井良隆君）

3番林 健児君。

○3番（林 健児君）

186ページで砂子防災公園の買収費用だということでお聞きしましたが、中島の多目的とおっしゃられましたが、ここは購入するものですかというのと、240ページの先ほどの修繕料の中のマウンドとおっしゃられましたが、マウンドの修繕というのは土を盛るといいますか。その2点をお願いします。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

中島の多目的広場でございますが、借地の部分がございます。その部分の土地を購入ということで毎年交渉しているところでございまして、31年度におきましても購入を目指して予算計上しておるものでございます。よろしく申し上げます。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

議長。

○議長（横井良隆君）

スポーツ課長、どうぞ。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（福原多加志君）

グラウンド修繕の関係ですが、マウンド形成ということでグラウンドの整正それから締め固め、表面処理として塩化カルシウムの周囲の散布等々こちらの方を行っていくものでございます。

○議長（横井良隆君）

他に質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫君でございます。現在は私日本共産党で町民アンケートを行っております。その中で幾つか意見が出てきておりますのでそれに基づいて質問をさせていただきます。

まず、遊び場、公園をふやしてほしいという声がたくさん出てきております。ページ数だと144ページ、ちびっこ広場の関係になります。私議員をやって8年の中でちびっこ広場1つふえておりますが余りふえてきていない。ちびっこ広場をふやすためにどのような対策をとっているのか。そこら辺町民の声が大きいので回答をお願いいたします。

次に通学路の安全対策、また道路歩道整備ということのできのうの一般質問の中でも出てきておりますが、ソフトではなくてハードの面では180ページの交通安全施設修繕工事費の維持修繕工事などに該当するのではないかと思います。町長はきのうの一般質問の中でもカラー塗装というようなことをおっしゃられておりますが、そこら辺カラー塗装どういうふうに進めていくのか。また、それ以外に方法、通学路安全対策、道路歩道整備でやり方はないのかお聞きしたいと思います。

また、側溝、排水路の清掃、これも非常に大きい声でございます。これは178ページの

側溝暗渠清掃でございます。これは前年度、今年度で1850万の予算が1940万とふえてきているものでございますが、かつての前の他の議員の一般質問なんかでも地区総代からの要望も多いが十分応えきれていないというところがございます。もう少し予算をふやすことができなかつたのか。その点をお聞きしたいと思います。

また、ちなみに他の声としましてはきのう町長にも一般質問しました敬老パスの導入、これ非常に大きい声でございます。あと18歳年度末まで子供の医療費を拡大する。また2つ目の中学校をつくる。これも非常に大きい声でございますが、当初予算に出ておりませんので議題外ですのでこの質問はまたの機会にさせていただきたいと思います。以上でございます。

○子育て支援課長（安井慎一君）

議長。

○議長（横井良隆君）

子育て支援課長、どうぞ。

○子育て支援課長（安井慎一君）

144ページでございます。ちびっこ広場の施設をふやすための対策についてでございます。過去の議会におきましても町長が申しておりますように、1つでも2つでも公園については整備をしていきたいと。そんな中でやはり土地を出していただく地権者の方、それから管理をする子ども会、地域の方、こういったところからお話があるときは町の方から子ども会や大字の総代さんに投げかけて、管理上、今後どうしていくのか、そういうところも詰めながら1つでも多くの整備ができるように努めておるところでございます。以上です。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

178ページの側溝暗渠の清掃の中で予算をもう少しつけられなかつたのかというご質問をいただいております。これにつきましては予算編成時、もちろん担当課とヒアリングを行ってございます。その中から要望が上がってきたところを当然担当課において取りまとめられておまして、その中で必要な経費を見積もるということでございます。ただ、必要な分が十分入っていないかとおっしゃられてもおりますが、これについては担当課が十分現場を精査しながら事業を進められると認識をしております。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

交通安全施設の修繕ということでございます。交通安全対策費ということでございますが、このものにおきましては地元の総代さん等、交通安全の街路灯または反射鏡等の要望が出てきたものに対しまして修繕を行っているものと、あと先ほどもお話がありましたように交通安全の協議会等でそこで出てきたカラー塗装等の設置の要望が出てきましたら、この中でハード面の整備をしているものでございますのでご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

順次質問します。120ページ、先ほど他の議員からも出ましたが福祉巡回バス運転管理業務委託料でございます。これは平成31年10月から平成32年3月、半年で366万7000円です。上にある運転手賃金131万7000円、これは平成31年4月から31年9月、これも6カ月半年です。同じ半年で経費が131万7000円から366万7000円に上がっている。ただ、福祉巡回バスに関しては予算上運転手賃金しか出しておりません。以前私は予算の質疑の中でガソリン代等々他の経費はどうなっているのかとお聞きしましたら、結局そこら辺は算定していないということでお示ししてくださることはできませんでした。ですから、今回管理業務を委託するに当たってそこら辺の試算はどのようにやったのかお聞きしたいと思ひます。

また同じページで120ページ、福祉有償運送運営協議会委員謝礼5万2000円。これも何年も前から福祉有償運送を民間事業者で希望があるという話ですが現状どうなっているのか。私はこの福祉有償運送は非常に有効であり、あま市、津島市など運行されておられるのを聞いておりますがそこら辺どうなっているのか。お聞きしたいと思ひます。

あと132ページ、精神障害者医療費1299万6000円でございます。これは以前の中で精神障害者の精神疾患以外の一般疾患についても医療費の補助をすべきであると。他の愛知県下ほとんどの市町村が行っているということで大治町はやっていないがどうなったのかと質問しましたところ、町長は検討中だと、やるつもりだという答弁もいただいておりましたが結局どうなったのか。そこら辺お聞きしたいと思ひます。

140ページ、地域子育て支援拠点事業委託料1627万1000円です。この当初予算概要書の中でも新たに子育て支援員、基本型利用者支援事業に配置するとありますが、どのよう

なところにもどのような方を配置するのか。そこら辺をお聞きしたいと思います。

152ページ、骨髄提供者支援補助金21万円でございます。これ非常にいい施策だと思いますが、新聞報道によりますとこれも愛知県の施策の目玉になっているような感じもするんですが、そこら辺これは大治町単独事業なのか。県がやっている国がやっている中で一緒に乗っかってやっていくのか。そこら辺費用負担も含めてお願いしたいと思います。

あと152ページ、いのちを支える自殺対策推進委員会委員謝礼でございますが、自殺対策は非常に大切で大治町はこういう計画を立てるときに委託でやる場合が多いんですが、自殺対策だけは自前でつくられたということを聞いて非常に頑張っておられると思いますが、どのような方が今後自殺対策推進委員になられて進めていくのかと。

それと講師謝礼の中でゲートキーパー養成講座、自殺の兆しを見せている方を近くの方が見つけて、それで自殺されないようにやっていくための講座、そういうようなゲートキーパーというのを養成する講座だと思います。その講師謝礼だと思いますが、私も以前数年前ゲートキーパー養成講座必要だと一般質問の中で提案したこともあるんですが、そこら辺どうなのかということですね。そこら辺をお聞きしたいと思います。

あと178ページ、LED照明借上料など街路灯のLED化ですね。これ非常にいい施策とっております。それは何なのかというと……

○議長（横井良隆君）

吉原君、説明はいいですから端的に。多いものですから質問をお願いします。

○7番（吉原経夫君）

端的に言うとCO<sub>2</sub>削減効果が一番だと思うんですが、町も計画を立てております。これによってLED照明にかえることによってどれぐらいCO<sub>2</sub>を減らした。そしてあとどれぐらい減らしていかないといけないのかと。委託によって計画も立てているわけですからどういうふうにできているのか。広くお聞きしたいと思います。以上でございます。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

まず120ページの福祉巡回バスの委託料でございます。試算はということでございますが、委託する内容につきましては車両の運行、それから事故の際の保険の加入となっております。使用する車両につきましては総務費の方でリース車両としておりますこちらの方でガソリン代の方も計上しております。

2点目、福祉有償運送の謝礼でございます。現状はどうなっているのかということでございます。現在要綱の方は既に制定しております。申請の方は受け付けることができ

るような状況であります。現在のところまだ申請に至っていないということでございます。以上です。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

精神障害者の方の精神障害にかかる医療費以外の医療費のお尋ねだと思いますが、現在平成32年度に予算計上ができるよう課内で検討しておるものでございますのでよろしくお願いいたします。

○子育て支援課長（安井慎一君）

議長。

○議長（横井良隆君）

子育て支援課長、どうぞ。

○子育て支援課長（安井慎一君）

続きまして140ページの地域子育て支援拠点事業委託料、この中での利用者支援事業についてのお尋ねでございます。利用者支援事業につきましては、保護者等に対して情報の提供あるいは保育園、子育て支援事業のいろんな情報を提供するというを目的といたしまして、総合福祉センター3階にあります子育て支援センター、こちらに保育士あるいは社会福祉士、教諭、こういった資格を持った方を1名配置するというものでございます。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（横井良隆君）

保健センター所長、どうぞ。

○保健センター所長（吉本清美君）

予算書に沿ってでのちを支える自殺対策推進委員会の委員謝礼につきましては、こちらの謝礼は2名分でございます。委員といたしましては保健医療関係者、精神医療関係代表の医師、それから町内の医師の代表、それから保健所の担当者、それから福祉関係者として庁舎内の担当各課長、それから労働関係者として津島の公共職業安定所の代表の方、それから教育関係は各小学校中学校の代表の先生、それと関係各課の課長、それから警察関係、消防関係の方です。謝礼の方は医師の代表の方2名についてお支払いする予定でございます。

それからゲートキーパーの養成講座につきましては、対象としましては役場職員ですとか来年度につきましては職員とか社会福祉協議会、それから民生委員の方々を対象と

したいと思っております。5回ほど専門の先生に来ていただく予定でございます。

それから骨髄提供者の支援の補助金につきましては、今愛知県の方でも同時に議会の方で審議されているところでございます。県の補助金の方2分の1の案をいただいております。以上です。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

議長。

○議長（横井良隆君）

都市整備課長、どうぞ。

○都市整備課長（後藤丈頭君）

178ページのLEDでございます。今年度調査をしたものは道路を照らしている街路灯の全灯調査でございます。そのものについての削減量といたしましては282.5トンの削減の量が結果として出てきておりますので、このものにつきましてはこれ以外のものはちょっと調査外になっておりますのでご理解のほどよろしく申し上げます。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

福祉巡回バスについては結局車両代、ガソリン代等々それは変わらない、結局町負担は変わらないと。だから運転手賃金が福祉巡回バス運転管理業務委託料に変わるんだと。当然、職員の負担は減るわけですが、ただ大治町は運転手、名古屋市交通局を退職された方、優秀な方が多くみえてそういう中で非常に運転手困らなかつたというふうに思っているわけですが、実際現状では本当に突然休まれて困っている。民生課の職員がかわりに運転しなきゃいけないなど困っている事態だったのか。現状どうなのか。それを1点お聞きします。

またもう1点、261ページ、地方債の件でございますが、教育で地方債がふえていくと。これは小中学校にエアコンを設置する関係等々あると思うんですが、当然小中学校のエアコンについては当初予算には出ておりませんが、当然地方債の関係でございます。ことし6月までにどうしても設置していただきたいんですが、1回目の入札がどこも応じる業者がなくて失敗したと。2回目以降、現状どのような見込みなのか。きちっと6月までに工事完了ができるのか。そこら辺を最後お聞きしたいと思います。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

現在雇用している臨時雇用職員に問題があつて委託にするというわけではございません。先ほども申しましたが急遽民生課の職員で対応するというのもございますので、そういった際に委託するというのが効率的な事務を図れるという観点から委託するものでございます。

○7番（吉原経夫君）

何回ぐらい。今まで事例は。

○議長（横井良隆君）

261ページは議題外ですので答弁は結構です。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

過去に多い年では一月に5回程度職員で運転したことがございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

○4番（林 哲秀君）

議長。

○議長（横井良隆君）

4番林 哲秀君。

○4番（林 哲秀君）

4番林 哲秀でございます。204ページお願いしたい。学校総務教育事務費で新規で長寿命化計画というのが出ております。1057万1000円。もう少し具体的に施設のところだとかどういふことをされるかということと、町の職員としてこの委託するために誰かマンパワーとしてはどういふ方がやられるのか、ちょっとお伺いしたいのですが、この2点で。

○学校教育課長（恒川 覚君）

議長。

○議長（横井良隆君）

学校教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（恒川 覚君）

長寿命化計画につきましてお答えをさせていただきます。このものにつきましては、国がまず策定しましたインフラ長寿命化基本計画というのがございます。それに基づきまして各市町村がそれぞれ個別の長寿命化計画を策定することとなっております。これ

によりましてこちら教育委員会の施設、学校教育が所有している施設につきまして主に校舎等になると思いますが、そちらの方の施設の管理あるいは維持について老朽化対策を含めて中長期的な維持管理にかかる、いわゆる総トータルコストの縮減とか予算の平準化を図るためにこの計画を策定してそれに基づいて施設のいわゆる長寿命化について策定をしていくというものでございます。

マンパワーということですが、このものについてはやはり我々も中に入ってやるわけでございますが、具体的に計画それから施設の概要等を調査するものについてやはり委託で行ってまいりますので専門の業者の方へ委託してまいりたいと考えております。以上です。

○4番（林 哲秀君）

議長。

○議長（横井良隆君）

4番林 哲秀君。

○4番（林 哲秀君）

今お聞きしたんですが、これは大体来年度にかかって何年ぐらいで仕上げでどういうふうな結果が出るのかというのはどれぐらいかかるんですか、日数的には。年月でもいいですけど。

○学校教育課長（恒川 覚君）

議長。

○議長（横井良隆君）

学校教育課長、どうぞ。

○学校教育課長（恒川 覚君）

平成31年度に計画を策定する予定でございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第12号は、所管の各常任委員会に付託をいたします。

日程第12、議案第13号平成31年度大治町国民健康保険特別会計予算を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。まず29ページ、31ページをごらんください。

昨日保険医療課長が国保の中で保険給付費が確定できないというような話でございましたが、今年度から愛知県との共同運営ということで保険給付費ほとんど全て県の支出金で賄われております。それは29ページ、31ページを見ていただければおわかりのことだと思います。結局、不確定要素としてあるのが20ページのその他繰越金でございます。20ページを見ていただきたいんですが、その他繰越金、今年度補正後3億2520万4000円繰越金があります。それが2137万7000円と非常に減っている。これはなぜかということ繰越金に関しては確定していませんので最終的に歳入歳出帳尻合わせるところがその他繰越金なわけです。ですから、実際はもっとその他繰越金がある見込みだと思われまして。そこら辺どうなのかということですね。もう少しつけ加えれば、昨年度まで大治町は国保会計をどういうふう運営してきたのかといいますと、保険医療費を非常に低く見積もって、そうすれば保険税そのままでもいいし一般会計からの繰り入れも少なくても当初予算済むと。でも現状は保険医療費がそうじゃ足りなくなるから12月から3月にインフルエンザがはやったということで保険給付費がふえてきてふやした形にして一般会計からの繰り入れで帳尻を合わせてきたという経緯で、今年度からはそういう手法がとれないということでございます。実際に言いたいのは、その他繰越金はあるわけですから保険税を上げる必要はないんじゃないかと。4000万も上げる必要はないと。その点どう考えているのか。お願いいたします。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

それでは繰越金もう少しあるんじゃないかということでございますが、昨日の一般質問でもお答えしたと思いますが、県からの交付金関係については超過交付を抑えるため年度内での調整を図ることがございまして3月4月で調整が図られていくということでございます。一方ですね、医療費については支払いに支障を来すということもございましてそれについては不用額が相当額出てくるだろうというところは思っておりますが、交付額の調整等々がどのぐらいになるかというところはちょっと私どももわかりませんので、そういう面で昨日も繰越額が具体的にどうだというお話でございましたが、はっきりしたことが言えないということで申し上げたものでございます。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

国や県からのお金がきちっと見込めないということですが、一応県の納付金、納付金は昨年度の医療費、保険給付費等々を鑑みて今年1月に大体見込みが示されているはずで、大幅に狂うことはない。新年度、保険給付そういう歳出ですね、タイムラグがあるかもしれませんが一応県の支出金できちっとこれは賄うとなっておるから金額がそんなにぶれることはないと思うんですよ。そんな余裕を持つ必要はない。繰越金は確定はしておりませんが現状はもっと本来はもっとあるはずだと思うわけですよ。なぜそういうことを言うかということ、昨年3月つまり今年度保険税が上がっている。来年度も上げる。先ほども質問しましたが保険税、昨年度は愛知県の市町村の中で19番、上から19番。ことし5番。どんどん上げて本当に大丈夫なのか。結局納付率が下がったら元も子もないんですよ。本当に町民の皆様には払っていただけるのか。そこら辺考えているのかどうか。昨年度までは国保会計の担当者がそれは考えておられたから保険医療費低く見積もって、足りなくなったら最終的に一般会計から繰り入れるしかない、補正予算で。そういうやり方をやられてきたと僕は思っています。だからこそ上げなかったからこそ納付率も上がってきた。今まで最低だったんですよ、前、私も聞いていますがどんどん上がってきている。まだまだ……

○議長（横井良隆君）

端的に。

○7番（吉原経夫君）

県が求めるまでにはいきませんが、そこら辺保険税の納付率まで考えて提案されているのか。国の方針はわかります。県の方針もわかりますが、納付率が下がったら元も子もないんですよ。そこら辺はどうお考えなのかお聞かせ願いたいと思います。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

今の収納率がどうだということですが、当然収納率を考慮しつつ県の示されてくる標準保険税率に近づける改正を行うものでございます。

○議長（横井良隆君）

他に。

[「なし」の声あり]

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第13号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

日程第13、議案第14号平成31年度大治町土地取得特別会計予算を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

[「なし」の声あり]

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第14号は、総務教育常任委員会に付託をいたします。

日程第14、議案第15号平成31年度大治町介護保険特別会計予算を議題といたします。

これから質疑に入ります。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。まず14ページでございます。保険者機能強化推進交付金でございます。これは今回の補正予算にも出ておりますが、どのような制度でどのような趣旨でどのようなために使われるのか説明をお願いしたいと思います。

もう1点は、54ページでございます。これは町立デイサービスセンターについてでございますが、居宅介護サービス事業費の中の特定財源の中で介護サービス事業準備基金繰入金319万3000円。当然赤字だったら基金から繰り入れなきゃいけないんですが、どんどん基金の繰り入れをやっていけば将来的になくなっていく。ここら辺どういうふうに、当然利用者をふやしていくということしかないと思うんですが、そこら辺の対策はどうなっているのか。その2点をお聞きしたいと思います。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

まず14ページの保険者機能強化交付金でございます。交付金の目的につきましては、高齢者の自立支援や重度化防止などに関する取り組みを支援するために平成30年度から新設された交付金でございます。以上でございます。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）  
議長。

○議長（横井良隆君）

老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長、どうぞ。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）

54ページの居宅サービス事業費の基金の繰入金のご質問ですが、30年の12月末現在で基金の残高が4500万ほどあります。毎年300万ほど今現状崩しておりますが、このペースでいまましても15年もつかと思います。

あと利用者の方の確保ですが、現在うちの方もケアマネージャー等いろいろと営業活動をしておりまして、先月から利用客の方が増加していますのでこのままいきたいと思っております。以上です。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

保険者機能強化推進交付金の説明ありがとうございます。30ページでございますが、その保険者機能強化推進交付金、特定財源でなっておりますが、これを使って具体的にどのような事業を行っているのかということと、デイサービスセンターですね、非常に老人福祉センターと一体で運営されているので町立デイサービスセンターが成り立たなくなると老人福祉センター等にも影響が非常に大きいと私は考えております。今15年もつということですので今のペースで、ただ、できればもう少し頑張っていただいて毎年収支はとんとんでいくようなことを考えていただきたいんですが、そこら辺のもう少し対策と  
いうのかそこら辺はどうなっているのでしょうか。

○民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（横井良隆君）

民生課長、どうぞ。

○民生課長（加藤 謹君）

交付金の対象となる事業につきましては、主に介護予防事業による経費に対して交付

金を充てるものでございます。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）  
議長。

○議長（横井良隆君）

老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長、どうぞ。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（山崎長栄君）

議員言われるとおり、毎年基金の繰り入れをしないのが一番ベストであります。現在うちの事業所においては大治町の住民のために行っております。これも住民サービスの一環だと思って運営しておりますのでご理解のほうをよろしくお願いいたします。以上です。

○議長（横井良隆君）

他に。

[「なし」の声あり]

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第15号は、所管の各常任委員会に付託をいたします。

日程第15、議案第16号平成31年度大治町公共下水道事業特別会計予算を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

16ページ、職員人件費……

○議長（横井良隆君）

吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫です。16ページお願いします。職員人件費3842万でございます。当然人件費かかりますが、公営企業会計になっていく中でここら辺町負担で今はやっておりますが、来年度は町負担で構わないんですが将来的にどうなっていくのかというのが非常に危惧されるところでございます。それはなぜかという17ページ、下水道使用料4700万円です。収入が4700万円です。下の右側の日光川下流域下水道維持管理費負担金だけで4972

万7000円。それだけでも足りないわけなんです。ただ、現状そうせざるを得ないのはよくわかりますし、だから将来的にこれはやっぱり考えていかなきゃいけない問題かなと。公営企業会計を導入するというそこら辺の考え方をお願いしたいと思います。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

今、下水道課において公営企業会計導入に向けて非常に頑張っております。その中で職員人件費につきましては今のところ一般会計でみさせていただきます。といいますのは、公営企業会計のうち今後適用させていただくのは財務適用といまして財務だけになっております。今後につきましては当然企業会計の中で賄えるのが一番であるとは感じております。

○議長（横井良隆君）

他に。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

公営企業会計は財務適用ということで人件費をみるのは問題ないと。当然、人件費を一般会計でみていかないと成り立たないことも重々わかっております。ただ、それ以外の部分、下水道使用料が日光川下流域下水道維持管理費負担金にも及ばないという中でそこら辺他の費用負担的なことはどういうふうに考えておられるのでしょうか。

○総務部長（糸野和彦君）

議長。

○議長（横井良隆君）

総務部長、どうぞ。

○総務部長（糸野和彦君）

企業会計の収支でございます。当然、今の現状では収入にもって歳出に充てることはできません。したがって、町からの名目はちょっと別としまして補助金もしくは交付金、その他の名目でもって企業会計の方へ繰り出しするというふうになってくると思います。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

私、公営企業会計をやっていく中で無理やり帳尻合わせでいくのかなと思っていましたが、そういう観点ではないということで今のところ安心をしております。以上、3点質問を終わらせていただきます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第16号は、所管の各常任委員会に付託をいたします。

日程第16、議案第17号平成31年度大治町後期高齢者医療特別会計予算を議題といたします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（吉原経夫君）

議長。

○議長（横井良隆君）

7番吉原経夫君。

○7番（吉原経夫君）

7番吉原経夫でございます。11ページ、一般会計繰入金の中で保険基盤安定繰入金というのがございます。こちら辺一般会計から繰り出していると。ちょっと説明をお願いしたいと思います。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

議長。

○議長（横井良隆君）

福祉部次長兼保険医療課長、どうぞ。

○福祉部次長兼保険医療課長（伊藤美紀雄君）

それでは保険基盤安定繰入金のことでございます。これにつきましては、7割5割2割軽減を対象としてのものでございまして、町の負担分その額が4分の1を町が負担するということになっておりますのでその額を繰り入れておるものでございます。よろしく申し上げます。

○議長（横井良隆君）

他に。

〔「なし」の声あり〕

○議長（横井良隆君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第17号は、福祉建設常任委員会に付託をいたします。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時58分 散会